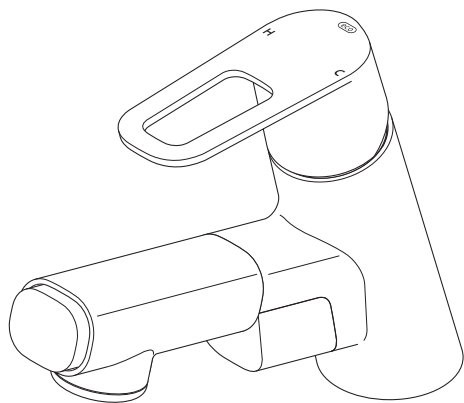


取扱説明書

シングルレバー式混合栓

品番 FSL150D(Z)DE(F)T 〈各仕様共通〉



- このたびは、当社商品をお買い上げいただきありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要な時にお読みください。
- 保証書に、販売店名・取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。

安全上のご注意 1-9

各部の名称 10

ご使用前に 11

使いかた 12-17

乾電池の交換方法 18

凍結予防のしかた 19-21

日常のお手入れ 22-25

定期的な点検 26

定期的な部品交換 27

故障かなと思ったら 28-30

仕様 31

アフターサービス 32

保証書

裏表紙

はじめに

使いかた

お手入れ

こんなときは

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡または重傷」に結び付く可能性があります。



注意 「傷害または物的損害」に結び付く可能性があります。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。



「分解禁止」の内容です。



「接触禁止」の内容です。



「水場使用禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

やけど
けが
破損
漏水
火災
感電

記載事項を守らなかった場合に生じるおそれのある事態を示しています。

やけど、漏水をした場合の処置

やけど やけどをした場合は、すぐ、その患部に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。

漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓をしめてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

警告

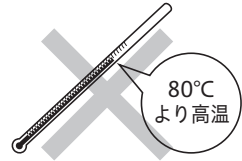


禁止

やけど
破損
漏水

給湯温度は80℃より高温で使用しないでください。給湯器の給湯温度は60℃以下の設定をおすすめします。

80℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

やけど
けが
破損
漏水

この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずし等の改造はしないでください。

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

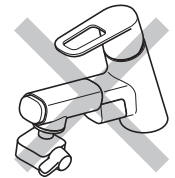


禁止

漏水

止水機構を持った市販浄水器具や止水機構を持った後付けの水栓ユニット等の取り付けはしないでください。

給湯器へ逆流したり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また、吐水口のパッキンが摩耗し、寿命が短くなることがあります。



禁止

やけど
けが

小さいお子様だけの使用は避けてください。

やけど・けがをするおそれがあります。



禁止

破損
漏水

配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。

通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

やけど
漏水

[寒冷地仕様の場合]

水抜きつまみは水抜き以外の目的で開けないでください。

水抜きつまみをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



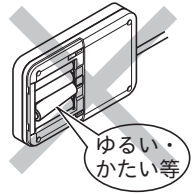
警告



禁止

火災
感電

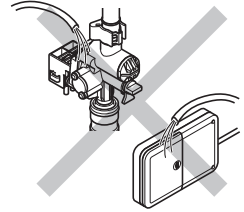
乾電池の取り付けがゆるい場合や、かたい場合は使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



禁止

火災
感電

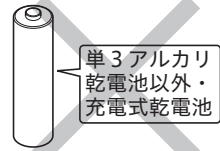
電磁弁ユニットや配線接続部、電池ボックスには水をかけないでください。
火災や感電の原因になります。



禁止

火災

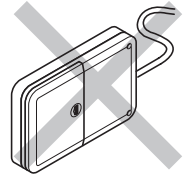
指定する電源(単3アルカリ乾電池)以外では使用しないでください。
また、充電式乾電池は使用しないでください。
火災の原因になります。
充電式乾電池を使用した場合、使用可能な期間が短くなります。



禁止

火災
感電

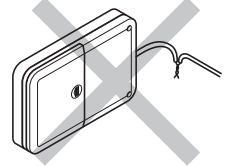
コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加熱したりするようなことはしないでください。
感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

火災
感電

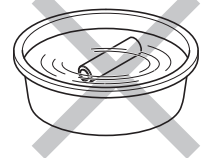
コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。
感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

火災
感電

乾電池を水の中に入れてください。
感電・ショート・火災の原因になります。



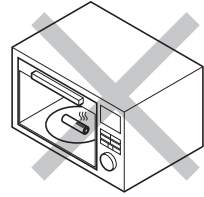
警告



禁止

火災

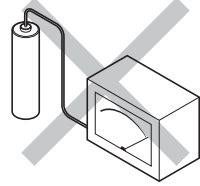
乾電池を加熱したり、火中に投げ入れないでください。
火災の原因になります。



禁止

破損
火災

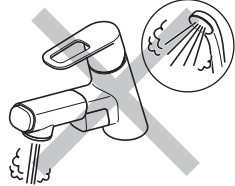
乾電池を充電しないでください。
火災や故障の原因になります。



禁止

やけど

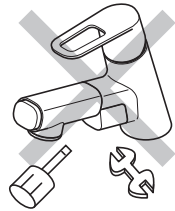
他所の水栓と同時に使用しないでください。
水圧変動により湯温が急上昇し、やけどをするおそれがあります。



分解禁止

やけど
けが
破損
漏水

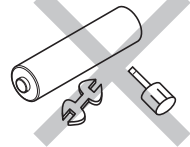
分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

破損
火災

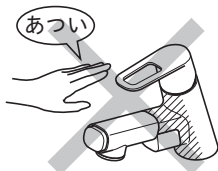
乾電池を分解したり、加工・改造はしないでください。
漏電・破裂・火災・故障の原因になります。



接触禁止

やけど

器具の左側は直接触れないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。



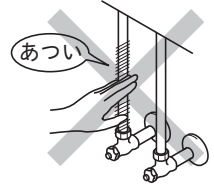
はじめて

警告



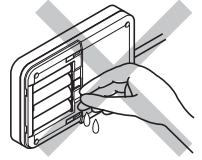
接触禁止
やけど

キャビネット内の湯側配管は直接触れないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。



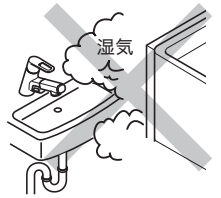
接触禁止
感電

濡れた手で乾電池を交換しないでください。
感電の原因になります。



水場使用
禁止
破損
感電

浴室などの湿気の多い場所には設置しないでください。
故障や感電のおそれがあります。



必ず実行
漏水
火災
感電

水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。

部品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電の原因になります。



必ず実行
やけど

湯水を使うときは、水側で吐水してからゆっくりと湯側へ回し、手で適温かどうかを確かめてから使用してください。
確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



必ず実行
やけど

レバーハンドルで湯温を確かめてから吐水してください。
確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



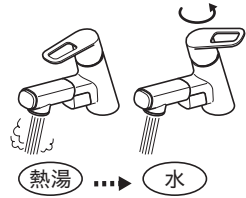
警告



必ず実行
やけど

高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流してください。

次に使用する時、水栓内に残っている高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



必ず実行
やけど

お湯を使用した後で次に使用する時は、しばらく吐水させてからお使いください。

しばらく吐水させないと、温度変化によりやけどをするおそれがあります。



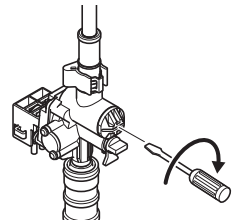
湯温が安定してから



必ず実行
漏水
やけど

ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側止水栓が熱くないことを確認してください。

高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



は
じ
め
に

⚠ 注意



禁止
けが
破損
漏水

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。

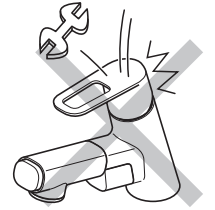
器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止
破損
漏水

器具に強い力や衝撃を与えないでください。

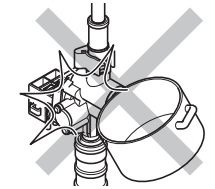
器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止
漏水

電磁弁ユニットに強い力や衝撃を与えないでください。

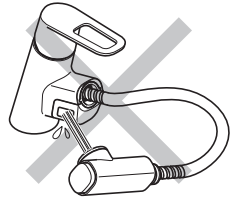
誤作動の原因となり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止
漏水

本体の開口部やセンサー部へ直接湯水をかけないでください。

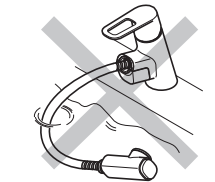
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
水受けトレイの設置をしてください。



禁止

シャワーホースやシャワーヘッド(または吐水ヘッド)は湯水に浸けたまま放置しないでください。

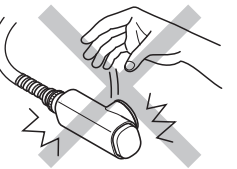
湯水が逆流するおそれがあります。



禁止
けが

めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。

鋭利な物や硬い物を当てないでください。
めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。



⚠ 注意



禁止
破損

センサー面を傷つけないようにしてください。

器具が破損したり、誤作動するおそれがあります。



禁止
破損
発火
感電

トイレ用洗剤・住宅用洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・トイレ用ウェットティッシュ・クレンザー・クレゾールを使用しないでください。

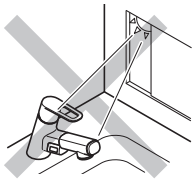
発火・ショート・感電・故障の原因となります。



禁止
故障

直射日光が当たる場所でのご使用はおやめください。

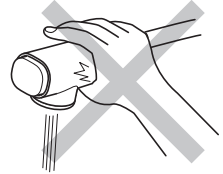
誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。



必ず実行
けが

めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。

けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。



必ず実行
けが

センサー面に付着した汚れや水滴は拭き取ってください。

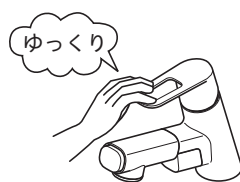
センサー面に汚れや水滴が付着していると誤作動するおそれがあります。



必ず実行
漏水

レバーハンドルはゆっくり操作してください。

急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



⚠ 注意



必ず実行
故障

乾電池の液が漏れたときは、液をきれいに拭き取ってください。万一、液が体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

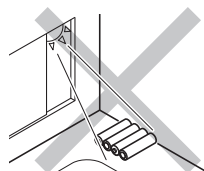
漏液した乾電池は使用しないでください。漏れた液をきれいに拭き取らないと、故障の原因になります。



必ず実行

乾電池は直射日光・高温多湿を避けて保管してください。

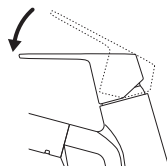
湿度が高いと乾電池に露(水分)が付き、ショートすることがあります。また、高温下に長い間放置すると性能が低下します。



必ず実行
故障
漏水

長時間使用しない場合はレバーハンドルを閉じてください。

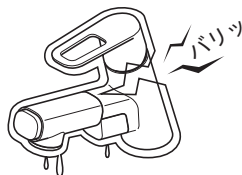
器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行
破損
漏水

凍結が予想される際、一般地仕様をお使いの場合は少量の水を出しておくか配管に布を巻くなどして凍結を防止してください。

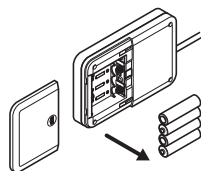
寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。水抜きしないと凍結破損で漏水し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行
破損

長期間使用しない場合は、電池ボックスから乾電池を抜いてください。

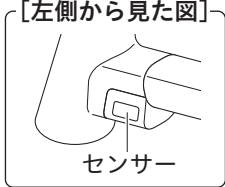
誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。



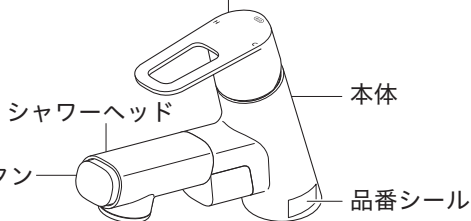
各部の名称

品番によっては、図と形状が一部異なります。

[左側から見た図]

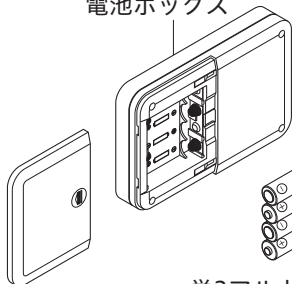


レバーハンドル

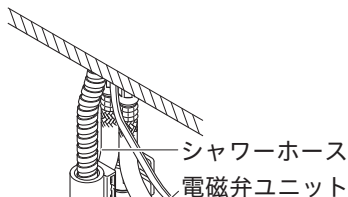


吐水切替ボタン

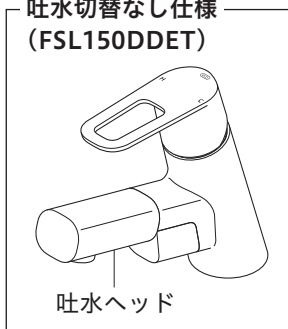
電池ボックス



単3アルカリ乾電池(4本)



吐水切替なし仕様
(FSL150DDET)



逆止弁

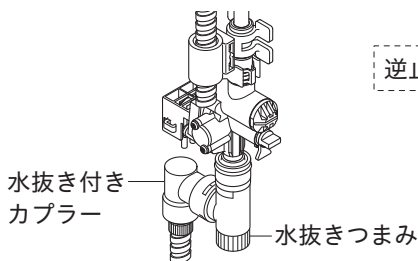
止水栓(別売)

湯側止水弁

水側止水弁

使
い
か
た

寒冷地仕様



逆止弁

止水弁

水抜き栓付
止水栓(別売)

|| ご使用の前に

1 給湯器使用上のご注意

- ・ やけど防止のため、給湯器の給湯温度は60°C以下の設定をおすすめします。
- ・ 吐水量が少ない場合、給湯器が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)

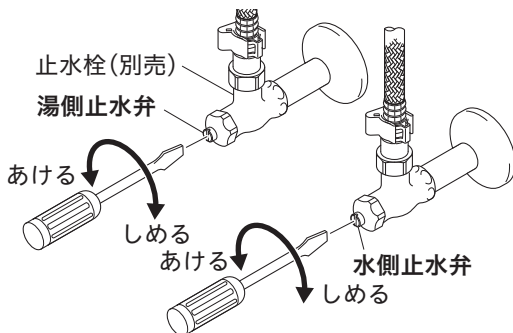
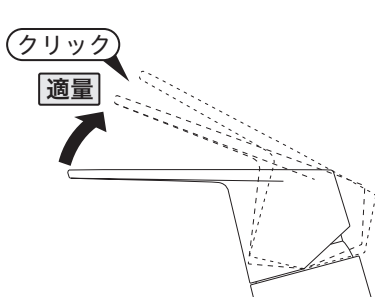
2 電源の確認

- ・ ご使用の前に、乾電池が電池ボックスに正しく取り付けられていることを確認してください。(18ページ「乾電池の交換方法」参照)
- ・ 同梱されている乾電池は動作確認用です。お早めに新しい乾電池にお取り替えください。

3 流量の調節方法

流量が多すぎる場合などは、下記の方法で止水弁を操作して流量を調節してください。時計回りに回すと流量が少なくなり、いっぱいまで回すと止水します。また、反時計回りに回すと流量が多くなり、いっぱいまで回すと最大流量になります。レバーハンドルのクリック手前で適量(湯側・水側それぞれが5L/min程度)になるように止水弁で調節します。水圧が低く、クリック手前で適量が得られない場合は、止水弁を最大流量にしてください。

使いかた



使用かた

1 出し止め方法

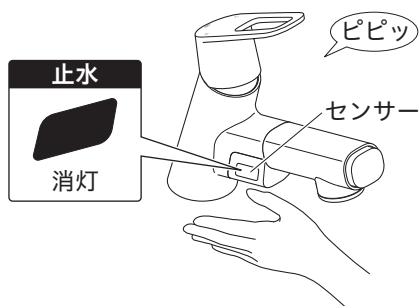
吐水する

- レバーハンドルを開きます。
- センサーに手をかざします。
自動的に吐水します。
吐水時に「ピッ」と音が鳴ります。
※3秒以上手をかざし続けると自動的に
止水します。吐水させたい時はもう
一度手をかざしてください。
※濃い色合いの物にはセンサーが反応し
ない場合があります。
※表示は10回点滅した後、止水するまで
ゆっくり点滅し続けます。



止水する

- センサーに手をかざします。
自動的に止水します。
止水時に「ピピッ」と音が鳴ります。
※吐水状態が10分間継続すると自動的に
止水します。



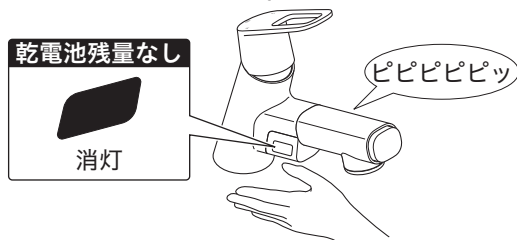
長時間使用しない場合はレバーハンドルを閉じてください。

注意 ご使用の前に適温かどうかを確かめてください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

乾電池残量減少時の表示について

乾電池の交換時期が近づくと、吐水時に表示が赤色点滅します。
点滅後もご使用いただけますが、お早めに新しい乾電池と交換してください。
(18ページ「乾電池の交換方法」参照)

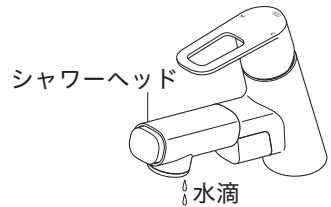
- ※表示は10回点滅した後、止水するまでゆっくり点滅し続けます。
※赤色点滅後もそのまま使用し続けると表示が消灯し、センサーでの吐水・止水ができ
なくなります。(センサーに手をかざした時、警告音が鳴ります。)



■ 使いかた

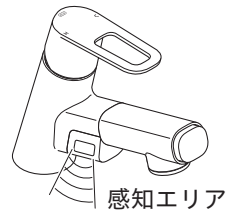
止水時の水滴について

止水した時、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーホース内の残留水です。異常ではありません。



ご使用時のお願い

- センサーの感知距離内に障害物が入らないようにしてください。誤作動の原因になります。また、インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動する場合があります。



- センサー部に汚れや水滴が付着した場合は拭き取ってください。汚れの付着や、湯気や水はねで水滴が付着すると誤作動の原因になったり、感知しにくくなったりします。



使いかた

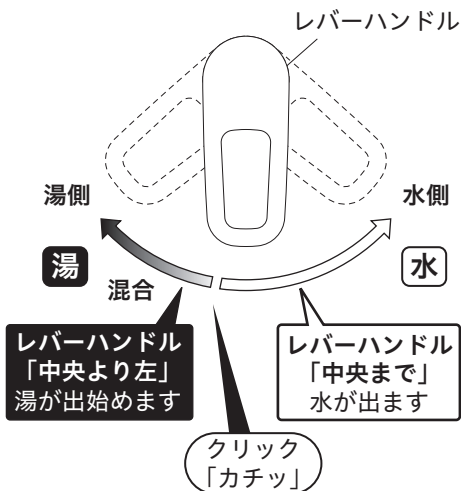
2 温度調節方法

レバーハンドルを回します。

右側いっぱいから中央まで水が出ます。
中央より左へ回すと次第に湯が出始めます。
湯が出始める位置にクリックを設けています。
(無駄なお湯を使わないためのご提案です。)



警告 湯水を使うときは、水側で吐水してから、ゆっくり高温側へ回して、手で適温かどうか確かめてから使用してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



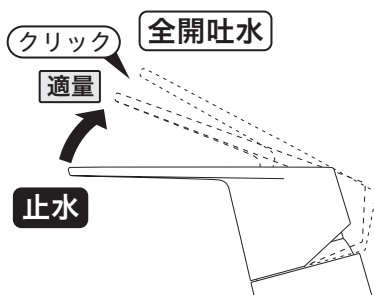
3 量の調節方法

レバーハンドルを上下に動かします。

上へ動かすほど流量が増します。
クリックを超えると全開吐水になります。
普段はクリック手前で使用し、たくさんの量を使用する場合は全開吐水(クリックを超えた位置)でご使用ください。
(必要以上の水を使わないためのご提案です。)

※水圧が低い場合、クリック手前では吐水量が少なく吐水が乱れたり、湯側にしても給湯器が着火しない(低温しか出ない)ことがあります。その場合は、全開吐水の位置でご使用ください。

※クリックから全開吐水(全開吐水からクリック)操作する際、吐水温度が多少変動する場合がありますが異常ではありません。



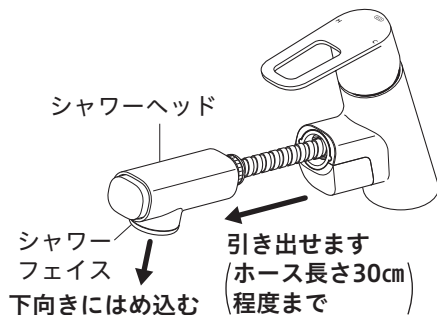
長時間使用しない場合はレバーハンドルを閉じてください。

使いかた

4 シャワーヘッド(吐水ヘッド)を引き出す

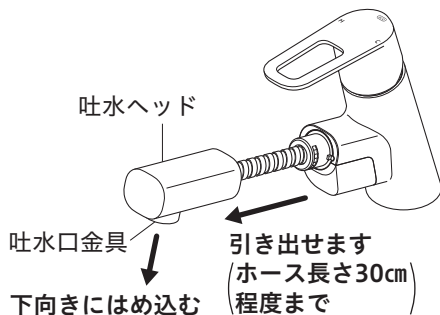
吐水切替あり仕様(FSL150DDEFT)

シャワーヘッドは引き出して使えます。
使用後はシャワーフェイスが下向きになるようにはめ込んでください。



吐水切替なし仕様(FSL150DDET)

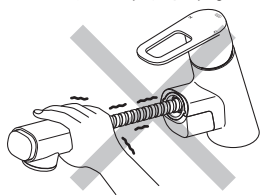
吐水ヘッドは引き出して使えます。
使用後は吐水口金具が下向きになるようにはめ込んでください。



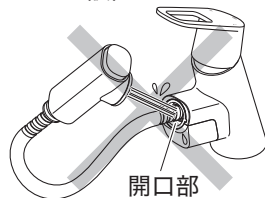
注意

ご使用時は、下記の内容に注意してください。
器具が破損し、けがをしたり、漏水等による財産損害発生のおそれがあります。

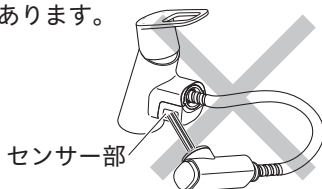
- シャワーヘッドを引き出し過ぎないでください。
ホースが戻しにくくなったり、ホース損傷による漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



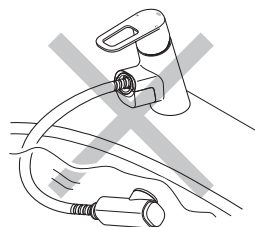
- 本体の開口部へ直接湯水をかけないでください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
水受けトレーの設置をしてください。



- センサー部へ直接湯水をかけないでください。
誤作動の原因になります。
また、キャビネット内へ水が浸入する場合があります。



- シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。
水が逆流するおそれがあります。

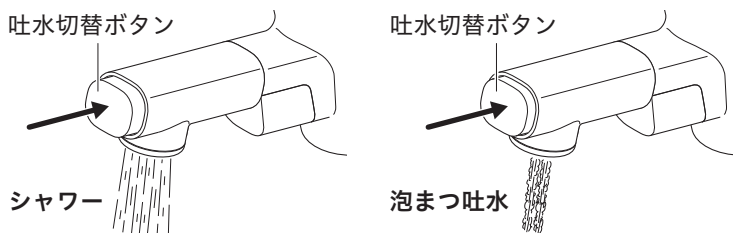


使いかた

5 吐水の切換方法 吐水切替あり仕様(FSL150DDEFT)

吐水切替ボタンを押します。

吐水切替ボタンを押すとシャワー、泡まつ吐水の切替ができます。



【お願い】 流量が多いと切り替わりにくい場合がありますので、その際は流量を調節してお使いください。(取扱説明書11ページ「流量の調節方法」参照)

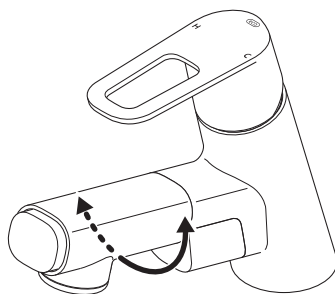
6 シャワーヘッドの向きを変える

吐水切替あり仕様(FSL150DDEFT)

シャワーヘッドは左右に360度回転します。

吐水切替なし仕様(FSL150DDEFT)

吐水ヘッドは左右に45度ずつ回転します。



7 操作音の消音設定方法

センサーに10秒間手をかざします。

操作音の消音設定の切換ができます。
消音設定時に同じ操作を行うと、設定が解除されます。

※乾電池の残量がなくなった場合の警告音は消音になりません。

※乾電池の交換を行うと消音設定が解除されます。

再度、設定をしてください。



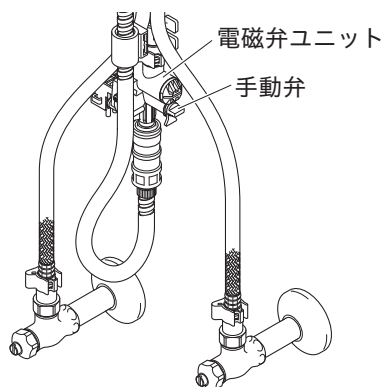
II 使いかた

8 電池切れおよび故障時の応急処置

電池切れや万が一の故障時には、復帰するまでの応急処置として電磁弁ユニットの手動弁を操作することで、センサーに関係なくレバーハンドルのみで吐水・止水ができます。

手動弁は非常時にのみ操作し、復帰後に戻してください。

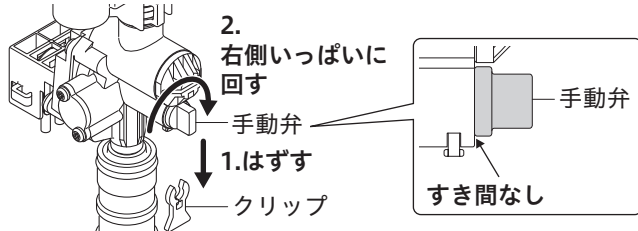
手動弁を戻さないとセンサーで操作できません。



手動弁の操作方法

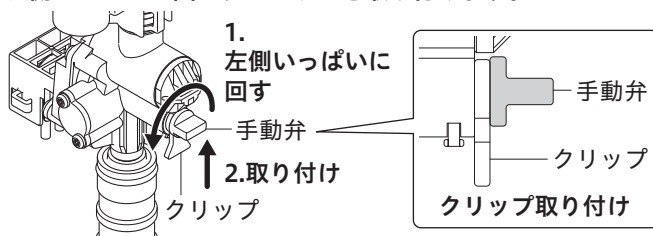
●非常時(電池切れや故障時)

クリップをはずし、手動弁を右側いっぱいに回します。



●復帰時(通常の状態)

手動弁を左側いっぱいに戻し、クリップを取り付けます。



注意

高温の湯をお使いの後は手動弁が熱くなっている場合があります。

操作をする際は、やけどに注意してください。

手動弁は工具を使わず手でゆっくりと操作し、無理に回しすぎないでください。

故障時は、レバーハンドルまたは止水栓をしめて、取付店・販売店またはKVK修理受付センターに修理を依頼してください。

乾電池の交換方法

乾電池交換のお知らせ

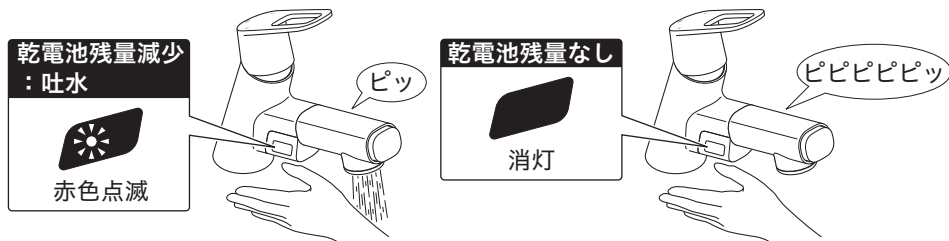
乾電池の交換時期が近づくと、吐水時に表示が赤色点滅します。

赤色点滅開始後、お早めに新しい乾電池と交換してください。

※表示は10回点滅した後、止水するまでゆっくり点滅し続けます。

※表示が赤色点滅後もそのまま使用を続けると、表示が消灯し、センサーでの吐水・止水ができなくなります。(センサーに手をかざした時に警告音が鳴ります。)

故障ではありませんので、乾電池を交換することで再度ご使用いただけます。



乾電池の交換方法

① 電池ボックスのカバーを (A) 部を押しながらスライドさせて開き、使用済みの乾電池を取り出します。(使用済みの乾電池は不燃ゴミとして各地域のゴミの回収・収集規定に従って処理してください。)

② 電池ボックスに新品の単3アルカリ乾電池(4本)を入れます。

【お願い】・必ずアルカリ乾電池を使用してください。

・充電式の乾電池は使用しないでください。

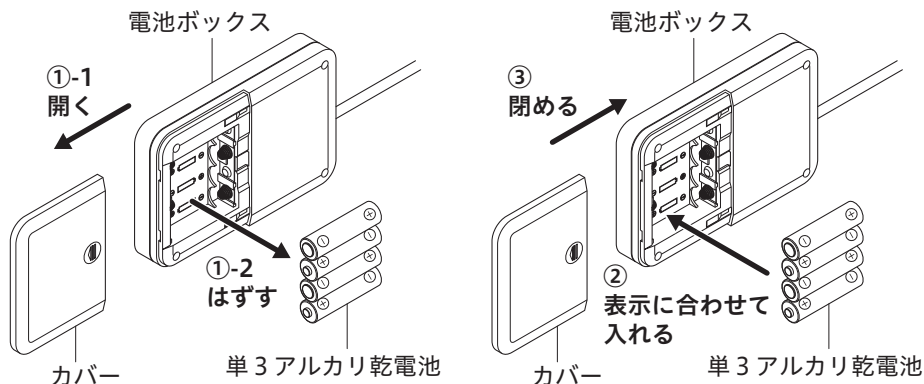
・新しい乾電池と古い乾電池、または異なる種類の乾電池は使用しないでください。

・使い切った乾電池は早めに取りはずしてください。

・乾電池の向きは電池ボックス内の表示に合わせてください。

・乾電池に記載の注意事項をお守りください。

③ 電池ボックスのカバーを閉めます。



使いかた

凍結予防のしかた

- 水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。なお、氷点下になる場合は、凍結予防の処置をしてください。



警告

解氷機を使用する場合は、水栓(給水・給湯管含む)には通電しないでください。
水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



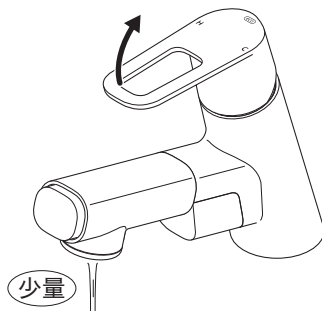
注意

凍結が予想される際は、次ページの手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。
怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

1 一般地仕様の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- ・水栓より少量の水を出しておきます。
- ・配管部に布を巻きます。



凍結予防のしかた

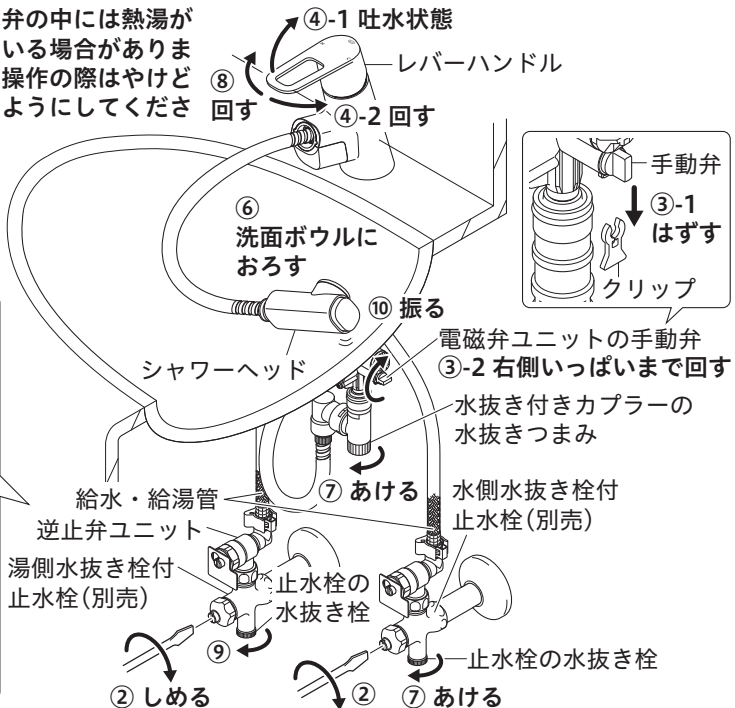
2 寒冷地仕様の場合

| 器具のみの水抜き (配管に水抜き栓 がない場合) | 配管からの水抜き (配管に水抜き栓) がある場合 | 操作 |
|--------------------------------|--------------------------------|--|
| — | ① | 配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作) |
| ② | — | 湯水の止水栓の止水弁(2か所)をしめます。 |
| ③ | ③ | クリップをはずし、電磁弁ユニットの手動弁を右側いっぱいまで回します。 |
| ④ | ④ | レバーハンドルを全開状態で、水側いっぱいに回します。 |
| ⑤ | ⑤ | 湯水の逆止弁ユニットのプレートをスライドさせてはずし、逆止弁開放ネジをねじ込みます。 |
| ⑥ | ⑥ | シャワーヘッドを洗面ボウルに下ろします。 |
| ⑦ | ⑦ | 水抜き栓付きカプラーの水抜きつまみと、水側の止水栓の水抜き栓をあけて水を抜きます。 |
| ⑧ | ⑧ | レバーハンドル全開状態のまま、湯側いっぱいに回します。 |
| ⑨ | ⑨ | 湯側の止水栓の水抜き栓をあけて水を抜きます。 |
| ⑩ | ⑩ | シャワーヘッドを振って中の水を抜きます。 |



警告

湯側止水弁の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないようにしてください。



使いかた

凍結予防のしかた

水抜き後、通水を再開する

【お願い】 前ページと逆の手順で操作して通水を再開してください。

- 水抜き栓および水抜きつまみをしめる。
 - 逆止弁ユニットの逆止弁開放ネジを左側いっぱいに戻し、プレートを取り付ける。
 - 電磁弁ユニットの手動弁を左側いっぱいに戻し、クリップを取り付ける。
- 通水時は、レバーハンドルを吐水状態にしてください。

通水を再開しても水が出ない場合

水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。そのまましばらくお待ちください。

日常のお手入れ

1 お手入れ方法

布やスポンジを使用したお手入れ方法

軽い汚れの場合

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

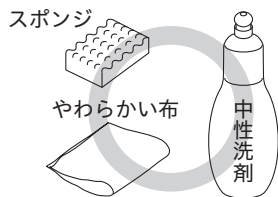
ひどい汚れの場合

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、柔らかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布でから拭きします。

使ってはいけないもの

水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。

【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。



センサーのお手入れ方法

センサーの表面に水アカなどが付着すると感知しにくくなりますので、定期的に清掃してください。

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布で汚れを拭き取ります。

ひどい汚れの場合は、中性洗剤をぬるま湯で薄めたものに柔らかい布を浸し汚れを拭き取ったあと、洗剤が残らないように水拭きしてください。

【お願い】・センサーの表面に傷をつけないようにしてください。

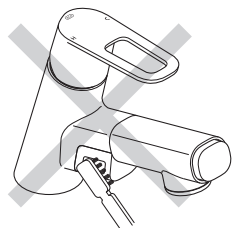
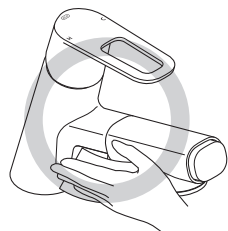
・レバーハンドルは閉じた状態で行ってください。

使ってはいけないもの

たわし・歯ブラシ等はセンサー表面に傷が入るおそれがありますので、使わないでください。



注意 お手入れの際はセンサー部へ直接湯水をかけないでください。誤作動の原因になります。



お手入れ

|| 日常のお手入れ

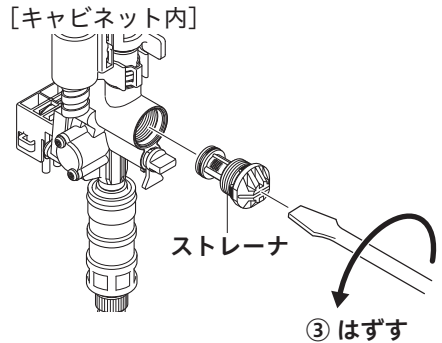
2 電磁弁部ストレーナの清掃方法

電磁弁ユニットのストレーナは定期的に清掃してください。

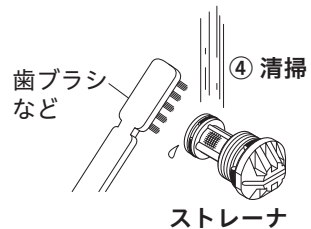
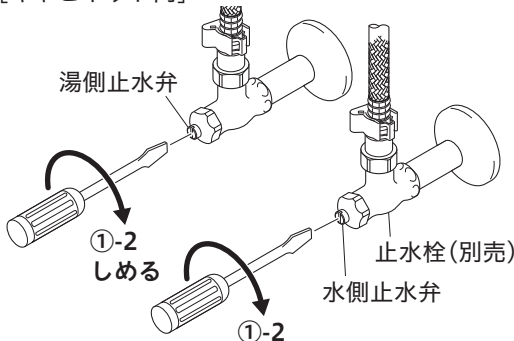
電磁弁ユニットのストレーナにゴミなどがつまると、吐水量が少なくなる場合があります。

警告 ストレーナの清掃は、止水弁で必ず止水してから行ってください。ストレーナをいきなりはずしますと高温の湯が噴き出してやけどをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① レバーハンドルを開き、湯水の止水弁(2か所)または元栓をしっかりとめます。
- ② センサーに手をかざして感知させ、吐水しないことを確認します。
- ③ ストレーナを反時計回りに回し、取りはずします。
- ④ ゴミ・水アカ等を洗い流します。



[キャビネット内]



お手入れ

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

注意 ストレーナは過剰に締め込み過ぎないでください。また、締め込みに電動工具を使用しないでください。

破損して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

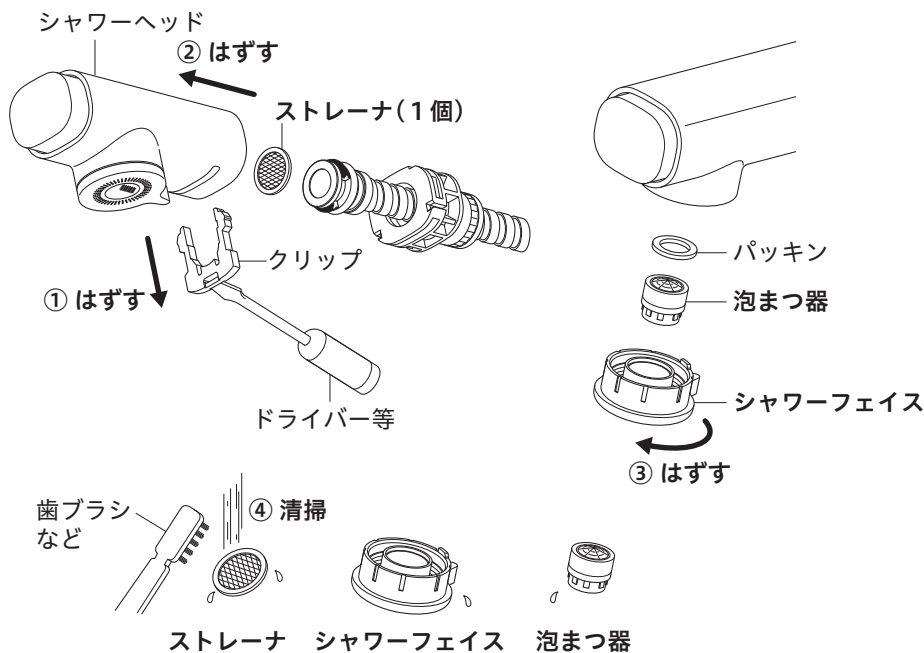
日常のお手入れ

3 ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器の清掃方法

吐水切替あり仕様(FSL150DDEFT)

シャワーヘッドのストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器は定期的に清掃してください。シャワーヘッドのストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器にゴミ等がつかりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりします。

- ① ドライバーなどでクリップをはずします。
- ② シャワーヘッドをはずし、ストレーナ(1個)を取りはずします。
- ③ シャワーフェイスをはずして、泡まつ器を取りはずします。
- ④ ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器をブラシで水洗いします。



〈清掃後の組み立て〉

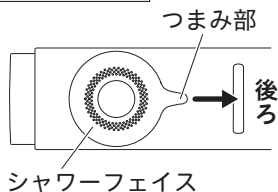
はずした逆の手順で組み立ててください。

【お願い】 パッキンをシャワーフェイスの内側にしっかりはめ込んでください。はめ込まれていないと、正常に吐水できないおそれがあります。

シャワーフェイスを締め込む時、約2回転程締め込んで、シャワーフェイスつまみ部が後ろで止まるまで締め込んでください。

【お願い】 止まるまで締め込んだら、それ以上締め込まないでください。破損するおそれがあります。

下から見た図



お手入れ

日常のお手入れ

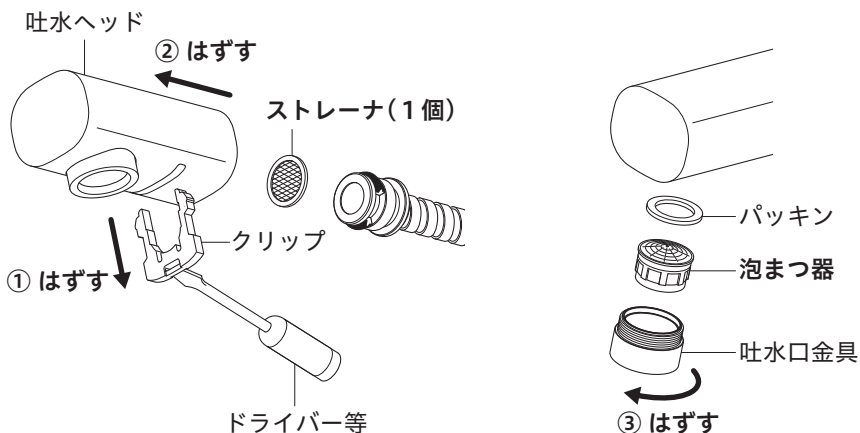
4 ストレーナ・泡まつ器の清掃方法

吐水切替なし仕様(FSL150DDET)

吐水ヘッドのストレーナ・泡まつ器は定期的に清掃してください。

吐水ヘッドのストレーナ・泡まつ器にゴミ等がつかりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりします。

- ① ドライバーなどでクリップをはずします。
- ② 吐水ヘッドをはずし、ストレーナ(1個)を取りはずします。
- ③ 吐水口金具をはずして、泡まつ器を取りはずします。
- ④ ストレーナ・泡まつ器をブラシで水洗いします。



お手入れ

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

【お願い】 パッキンを吐水口金具の内側にしっかりはめ込んでください。
はめ込まれていないと、正常に吐水できないおそれがあります。

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検を行ってください。

水受けトレイ（1か月に1回）

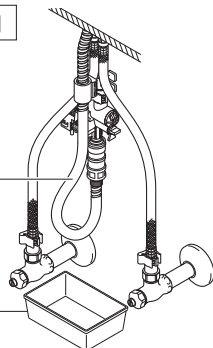


注意 水受けトレイの設置をしてください。水受けトレイは、シャワーヘッドを引き出してお使いの場合にシャワーホースを伝って落ちる水を受けるためのものです。
(水受けトレイがない場合は、別途お求めいただけます)
トレイ内に水が溜まっていないか確認してください。溜まっている場合は水を捨ててください。怠りますと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

キャビネット内

ホース

水が溜まっていないか確認
水受けトレイ



配管まわりからの水漏れ（1か月に1回程度）



注意 配管まわり（キャビネット内）の水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検を行ってください。

キャビネット内

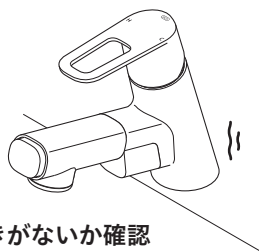
水漏れがないか確認



水栓取り付け部のがたつき（1か月に1回程度）



注意 水栓取り付け部のがたつきがないか確認してください。がたついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



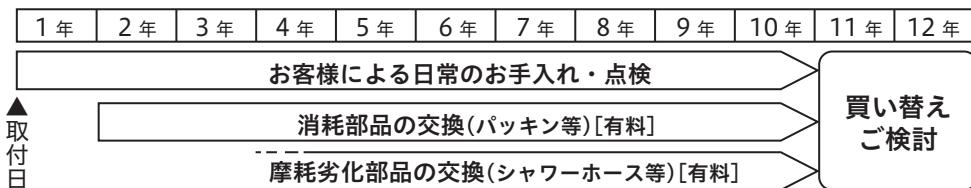
がたつきがないか確認

お手入れ

定期的な部品交換

安全・快適にご使用いただくために、定期的に部品交換を行ってください。
(部品は水栓の種類によって異なります。)

使用年数



部品の交換

部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。

・摩耗劣化部品の例(水栓の種類によって異なります)

例)カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等



注意

安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。

逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

(逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は10ページ「各部の名称」をご覧ください。)

部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

補修部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。

故障かなと思ったら

次のような現象は故障ではありません。
修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

| 現象 | お調べいただくところ | 処置 | 参照ページ |
|------------------------------|--|------------------------------|--|
| 吐水しない | 止水弁は十分に開いていますか | 止水弁を開ける | 11ページ 「流量の調節方法」 |
| | レバーハンドルは開いていますか | レバーハンドルを開ける | 12ページ 「出し止め方法」 |
| | センサーの表面に汚れや泡、水滴が付いていませんか | 汚れや泡、水滴を取る | 22ページ 「お手入れ方法」 |
| | センサーの前に障害物はありませんか | 障害物を取り除く | 13ページ 「出し止め方法」 |
| | 乾電池は電池ボックスに正しく取り付けられていますか | 乾電池を正しく取り付け | 18ページ 「乾電池の交換方法」 |
| | コネクタは確実に接続されていますか | コネクタを確実に接続する | 施工説明書13ページ 「コネクタの接続」 |
| | 断水中ではありませんか | 回復するまで待つ | — |
| | 電池切れではありませんか | 乾電池を交換する | 18ページ 「乾電池の交換方法」 |
| | ストレーナにゴミ等が詰まっていますか | ストレーナを清掃する | 23ページ 「ストレーナの清掃方法」 |
| ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器は凍っていませんか | ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器にぬるま湯をかける | — | |
| 直射日光は当たっていませんか | 直射日光が当たらないように遮光方法を検討してください | — | |
| 吐水量が少ない | 止水弁は十分に開いていますか | 止水弁を開ける | 11ページ 「流量の調節方法」 |
| | ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器にゴミ等が詰まっていますか | ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器を清掃する | 23～25ページ 「ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器の清掃方法」 |
| | ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか | ガス給湯器の能力を適正能力にセットする | — |
| | ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器は凍っていませんか | ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器にぬるま湯をかける | — |

こんなときは

故障かなと思ったら

| 現象 | お調べいただくところ | 処置 | 参照ページ |
|---------------|--|----------------------------|--|
| すぐに止まる | センサーに3秒以上手をかざし続けていませんか | 水が出たら手をセンサーから引く | 12ページ 「出し止め方法」 |
| 出たり止まったりを繰り返す | センサーの表面に汚れや泡、水滴が付いていませんか | 汚れや泡、水滴を取る | 22ページ 「お手入れ方法」 |
| 吐水口から水滴が数滴落ちる | 内蔵の圧力逃し弁(※)の作動によるもので、故障ではありません ※圧力逃し弁とは、他所の水栓や洗濯機の使用などで起こる急激な水圧変動から、水栓を保護するための弁です | | — |
| 止水しない | センサーの表面に汚れや泡、水滴が付いていませんか | 汚れや泡、水滴を取る | 22ページ 「お手入れ方法」 |
| | センサーの前に障害物がありますか | 障害物を取り除く | 13ページ 「出し止め方法」 |
| | 直射日光は当たっていませんか | 直射日光が当たらないように遮光方法を検討してください | — |
| | 電磁弁ユニットの手動弁が右側に回っていませんか | 手動弁を左側いっぱいに戻す | 17ページ 「電池切れおよび故障時の応急処置」 |
| 吐水が飛び散る | ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器にゴミ等がつまっていますか | ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器を清掃する | 23～25ページ 「ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器の清掃方法」 |
| 高温しか出ない | 水側止水弁は十分に開いていますか | 止水弁を開ける | 11ページ 「流量の調節方法」 |
| 低温しか出ない | 湯側止水弁は十分に開いていますか | 止水弁を開ける | 11ページ 「流量の調節方法」 |
| | 給湯機から十分な湯がきていますか | 給湯器の設定温度・作動を確認する | — |
| 温度調節がうまくできない | 湯側・水側の止水弁は十分に開いていますか | 止水弁で湯と水の量が同じになるように調節する | 11ページ 「流量の調節方法」 |
| | 給湯機から十分な湯がきていますか | 給湯器の設定温度・作動を確認する | — |
| | ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器にゴミ等がつまっていますか | ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器を清掃する | 23～25ページ 「ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器の清掃方法」 |

こころなときは

故障かなと思ったら

| 現象 | お調べいただくところ | 処置 | 参照ページ |
|--|------------------------------|------------------|---|
| 吐水クリック手前で使用すると、 ・吐水が乱れる ・湯側にしても低温しか出ない | 湯側・水側止水弁は十分に開いていますか | 止水弁を開ける | 11ページ 「流量の調節方法」 14ページ 「量の調節方法」 |
| ホースをスムーズに引き出せない | シャワーホースが電磁弁ユニットなどに引っかかっていますか | シャワーホースの引っかかりを直す | 施工説明書12ページ 「シャワーホースの接続」 |
| 操作音が鳴らない | 消音設定になっていませんか | 消音設定を解除する | 16ページ 「操作音の消音設定方法」 |
| ラジオ等の通信機器にノイズが入る | 水栓の近くに置いてありませんか | 通信機器を水栓から遠ざける | — |

●以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、レバーハンドルまたは止水栓をしめてください。

水栓本体内部のメンテナンスをする場合



注意

- ・修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因となります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。
- ・メンテナンスは、専用工具G26(別売)を使用して本体を保持しながら行ってください。
シャワーヘッドやレバーハンドルを持ってはずしますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。

こんなときは

仕様

| | |
|---------|--|
| 使用電源 | アルカリ乾電池 単3×4本 |
| 使用流体 | 1～80℃の水道水および飲用可能な井戸水 (氷結、ゴミ等の混入が無い事) |
| 使用環境 | 温度 [一般地] 1～40℃ [寒冷地]-20℃～40℃ 但し内部の水を凍結させないでください。 |
| | 湿度 90%以下 |
| 給水圧力 | 最低必要水圧：0.1MPa(動水圧) |
| | 最高水圧：0.75MPa(静水圧) |
| 電源コード長さ | 1.5m |
| 感知距離 | 約50mm(白紙：約60mm) |
| 乾電池寿命 | 120回/日の使用頻度として約2年 (Panasonic製 EVOLTA使用、使用環境室温20℃時) 使用環境によって乾電池寿命は変動します |

※同梱されている乾電池は動作確認用です。お早めに新しい乾電池にお取り替えください。

アフターサービス

保証書（この説明書の裏表紙が保証書になっています）


- この商品は保証書の内容に従って保証されています。
取付日、販売店名が記入してあることを確認してください。
また、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、取付日から2年間です。

保証について

- 保証期間中は
保証書の内容に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。
- 保証期間を過ぎている場合
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください

- 修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

 **0120-474-161** 受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00

携帯電話からは、 **0570-021-110**をご利用ください。（受付時間 9:00～17:00）

※通話料がかかります。

※固定電話からはつながりません。

水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。

[シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

技術料 …診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用

部品代 …修理に使用した部品代

出張料 …製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご依頼ください

 **0570-099-552**

受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00（夏期休暇、年末年始を除く）

こんなときは

Memo

Memo

KVK 水栓金具保証書 用途 一般家庭用

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

取付日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示の上、KVK 修理受付センターに修理をご依頼ください。

取付日、販売店等の記入漏れがありますと無効になりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

| | | | | |
|---------------|-----------|--------------------|------------------------|--|
| 品番 FSL150D(Z) | | 保証期間 2 年 | 取付日 年 月 日 | |
| お客様 お名前 | ふりがな | | ご住所 店名 ご住所 電話 | |
| | 〒□□□-□□□□ | | | |
| | 電話 () | | | |

- 取扱説明書、取扱表示プレート等の注意書に従った正常な使用・維持管理状態で表記の保証期間内に不具合の生じた場合は無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - 一般家庭用以外（業務用等）でご使用になった場合の不具合。
 - 専門業者や施工説明書等に基づかない施工に起因する不具合。
 - 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理や改造に起因する不具合。
 - 専門業者以外による移動・修理・分解等に起因する不具合。
 - 建築躯体の変形等商品以外の不具合に起因する当該品の不具合。
 - 表面仕上げの経年変化、使用に伴う摩耗等により生じる外観上の不具合。
 - 特殊な水質、気温、その他特殊な環境下での使用における不具合。
 - 砂やごみ、給水・給湯配管の錆等の異物流入および水あかの固着に起因する不具合。
 - 凍結に起因する不具合。
 - こまパッキン等の消耗部品の消耗・劣化に起因する不具合。
 - ねずみ等の小動物や昆虫等の行為に起因する不具合。
 - 火災、地震、風水害、その他の天災地変または戦争、暴動等破壊行為による不具合。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書にお客様名、販売先名および取付年月日の記載がない場合。
 - 浄水器水栓において、浄水カートリッジ（消耗品）は保証の対象外になります。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan) (本書仅限于日本国内有效。)
- この保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保存してください。
- この保証書において無料修理をお受けになる場合は、KVK 修理受付センターにご連絡ください。

●サービスメモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は取付店・販売店またはKVK 修理受付センターにお問い合わせください。